

-4 0 5 10 15 20 25 30 35 40 45 50 57 m

未来を創る
はじまりの仕事。

新たな標高0mの基準「ジオイド2024日本とその周辺」

詳しくはこちら



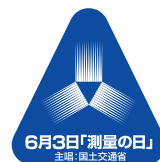
6月3日は 測量の日

2025年(令和7年)

ひとりでも多くの人が測量や地図に親しみ、その重要性について理解していただけたら・・・、そんな願いをこめて平成元年に制定された「測量の日」も今年で37年目を迎えました。6月3日を「測量の日」としたのは、測量法が昭和24年6月3日に公布されたことに基づいています。



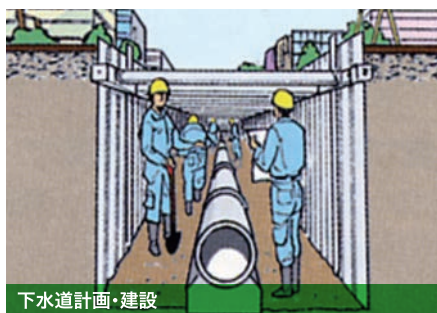
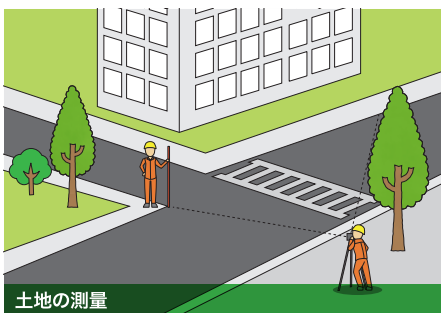
主 唱 国土交通省
推進団体 「測量の日」実行委員会



測量は、私たちの暮らしの中で、 どのように役立っているの？

測量は、私たちの暮らしと密接に関わっています。

都市計画、道路建設、空港整備や農地の整備などの公共事業を行うときは、基準点を使用して、正確な位置（緯度、経度、標高）を求める測量が必要です。



ダム、空港、道路、鉄道などの大規模な公共事業から、身近な土地の測量や上下水道などの建設まで、様々な場面で正確な測量が行われています。

また、私たちの暮らしの中でもスマートフォンやカーナビのように、現在位置の取得などに測量の技術が日常的に利用されています。

このように私たちの暮らしの中で、測量はさまざまなところで関わり、
重要な役目を果たしています。

地図は、私たちの暮らしの中で、 どのように役立っているの？

地図は、私たちの暮らしの安心を支えています。

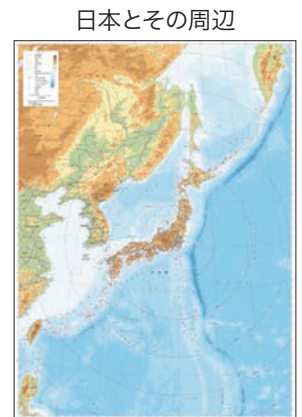
地図は、行政における各種計画、防災・減災対策、教育、レジャーなど、多方面で広く活用され、私たちの暮らしに欠かせないものです。



▲登山・レジャー
(スマホ対応)



▲防災・減災対策



▲地図・地図帳

地理院地図は、国土の地図や写真等を見ることができるウェブ地図です。

地理院地図は、国土地理院の整備する各種地理空間情報(道路や鉄道など最新状況が反映される地図情報の他、空中写真、標高、地形分類、災害情報)などを閲覧出来るウェブ地図です。

災害の備えとなる防災地理情報も提供しています。

地理院地図にアクセスしよう！

地理院地図のポイント

(1)最新の道路や鉄道が載っている！

主要な道路や鉄道を供用開始日に地図に反映

**(2)地形や災害リスクがわかる
地図・写真が見られる！**

様々な情報を収録(自然災害伝承碑など)

(3)昔の写真が見られる！

戦前～現在の土地の変遷も見ることができる

(4)どこでも標高がわかる！

洪水・津波等の災害対策に役立つ

(5)3Dでも見られる！

様々な情報を3Dにして見ることもできる



パソコンや
スマホから
アクセス！



地理院地図
<https://maps.gsi.go.jp/>

●行政における各種計画支援



●災害時の迅速な対応、復旧活動を支援



●カーナビ・ITSでの利用



このように地図は 世の中を豊かにし、私たちの暮らしを守るために
欠かせない重要な役目を果たしています。

高精度測位社会を支えるための測地観測技術

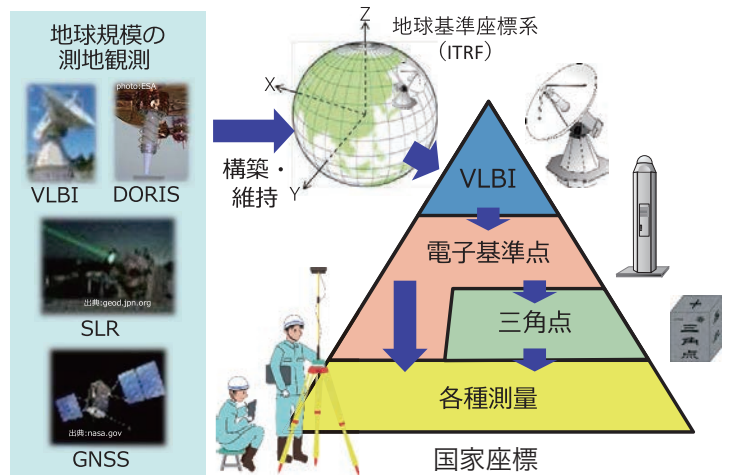
国際的な基準に基づいて国土の位置を定める取組

正確な位置情報(緯度・経度・高さ)は、私たちの経済活動に欠かせないものです。では正確な位置情報はどのように決められているのでしょうか？

まず、VLBI*1やGNSS等の世界各国の地球規模の測地観測により、国際的な座標系(ITRF)を構築・維持しています。

次に、この座標系に基づいて地球上の日本の位置を決定し、VLBIを基準として全国各地の電子基準点*2・三角点の位置を決定しています。

これらは、日本の位置の基準(国家座標)の共通ルールとして、国土の明示・管理・保全及び各種測量に利用されており、私たちの生活を支えています。



*1 VLBI (Very Long Baseline Interferometry: 超長基線電波干渉法) は、はるかかなたの天体から届く電波を2つ以上のパラボラアンテナで受信し、受信時刻の差から数千kmもの距離を数mmの精度で測る技術
*2 電子基準点 準天頂衛星やGPS等の測位衛星 (GNSS) からの測位信号を受信する観測施設

電子基準点による位置情報サービスの支援

電子基準点の観測データは測位信号の誤差を低減する補正情報生成に利用されています。この補正情報を利用するとリアルタイムでセンチメートル級の位置を決定することができるため、補正情報は測量・建設・農業等様々な分野で利用され、作業の効率化に貢献しています。

